

中学生の「税についての作文」

租税教育推進活動の一環として納税貯蓄組合総連合会並びに関係協力団体が中学生の「税についての作文」を募集し、川崎区・幸区の中学校から多数の作品が寄せられ、川崎南税務署長賞をはじめ川崎区長賞、幸区長賞など各団体賞があり厳正な審査の結果、当川崎南法人会会長賞に川崎市立大師中学校3年生、松沢侑香さん、川崎市立川中島中学校3年生、山村日菜子さん、川崎市立田島中学校3年生、山田僚也さんの3作品の作文が選ばれましたのでご紹介しま



「税とわたし」

川崎市立大師中学校3年

松沢 侑香

小学校6年生の頃、初めて「税金」という言葉を知りました。でもその時は人が稼いだお金をとっていくのはなぜだろう、おかしいな、と思っていました。「税金」という言葉を聞くと嫌な気持ちになったことを覚えています。

中学1年生の頃、自分の手元にある教科書が税金で払われていることを知りました。税金が自分のために使われていることを知ってとても驚きました。私自身が今現在でも、税金による支えの上で暮らせていることについて最近気づいたのです。

そんな時、社会の先生が言った言葉がとても印象に残りました。「君たちの使っている教科書や机、いすは全て税金でまかなわれています。それこそ、今日町なか

ですれ違った知らない人たちのおかげで勉強ができていて、とてもいいよね。」それを聞いて、税を収めている全ての人々に感謝しなければならぬんだなと思いました。

います。国民全員が日本という国で豊かに暮らせるのなら、私は増税しても良いと思います。でも、一部の人が幸せになる税のしくみならば、税金は必要ないでしょう。

私は、今自分が税のために何ができるのだろうかと考えてみました。誰でもできる、とても簡単なことはないだろうか。私は、その質問に答えるなら、税でまかなわれているものを大切にすることだと思っています。もし日本全国民が、税についてよく考え、税でまかなわれているものを全てを大切にすれば、税の無駄遣いはなくなると思います。少なくとも私は、税のありがたみが分かったので、ものを大切にしていきたいです。

今、税金による支えの上で暮らせていることにとても感謝しています。税金がなかったら、学校にも行けていなかったかもしれません。今いる友達とも出会えていなかったかもしれません。税金のおかげで、今の自分がいるのです。

大人になった時、一人の国民として税で支えられてきたこれまでの分を、しっかりと税を収めて返したいと思います。私は税金に対する感謝の気持ちを忘れません。そして、私達は税金でお互いを助け合っていることを、忘れてはいけません。

私の知らない税の使われ方が他にたくさんあると思います。ですが、そこでたくさんの人々が税によって助けられることがあるのなら、私は増税にも反対しません。むしろ引き上げるべきだと思



中学生の「税についての作文」

「消費税増税について」

川崎市立川中島中学校3年

山村 日菜子

消費税増税について、私は賛成です。なぜならば、増税をしていろいろな人の役に立つからです。例えば、お年寄りの年金に使われたいり、東日本大震災の復興のために使われるからです。津波により、多くの命と共に家や学校、公共の施設が流されてしまい、それらの建物を建てるためには多くの資金を必要としています。そのための資金を集めることが今の日本では求められていると思います。

では、増税をすることで何のメリットがあるのでしょうか。まずは政府にとつてのメリットです。税収の方法が簡単で短い期間で財源を確保出来ることです。そして、一般人のメリットは公的サービスの質の低下の歯止めです。公的サービスの例は、医療や福祉、

教育などです。他にもメリットは多くあります。ですが、メリットもあればデメリットもあります。では、デメリットは何でしょうか。政府にとつてのデメリットは、景気の悪化。景気が悪化することによって大きく

税率が変わります。消費税を三パーセントから五パーセントに増税をした時、約十兆円もの差があります。そして一般人にとつてのデメリットは、政府の無駄削減のインセンティブが低下することです。増税をするなら、政府の無駄をはぶく事をしたいという事です。私は増税に賛成ですが、この意見には賛成です。

そして、メリット・デメリットを見てみると低所得者は税を払うことがとても苦しいことがわかります。一般家庭での年間負担額は約十九万円となります。そして十パーセントになると約三十八万円となります。五

税に関する絵はがきコン



会長賞

戸手小学校6年
峯岸 優光 さん



税務署長賞

さくら小学校6年
星野 桃花 さん

租税教育活動の一環として、小学生を対象とした第3回絵はがきコンクールを開催しました。わくわく租税教室に参加してくれた小学生や7月に開催された租税教室・マジックショーに集まってくれた小学生、また幸区民祭やかわさき市民祭りなどで作品

パーセントの約二倍になります。では、低所得者には何の配慮があるのでしょうか。政府の対策は、二十五年以降の番号制度の本格稼働、定着後の実施を念頭に給付き税額控除等を導入する予定です。それでも低所得者には増税

て、今まであまり分かっていなかった税についてたくさん知ることが出来ました。増税をすることにはたくさんさんのデメリットやメリットがあり日本国民全員にかかわる大きな問題です。今回、税を調べてよかったです。

は日常生活に多大な影響を与えます。私も増税には賛成といえ、そのようなデメリットがあることすべてに増税しようとする事は出来ない事情がたくさんあるようです。そして、今回消費税を調べてみ



中学生の「税についての作文」

「皆の税活」

川崎市立田島中学校3年

山田 僚也

朝。まず顔を洗い、朝食を食べてトイレに行つて、歯を磨いて…。毎日、当たり前の様に行つている事にも上下水道の整備や食品の安全のための農業、漁業の支援など様々な事に税が使われていきます。

最近、僕はテレビで少子高齢化の影響で若い世代の負担が大きくなつてきているという事を知りました。そして、そのために消費税を増税しようとしている事も同時に知りました。

消費税は一番身近で誰にでも払う事のできる税です。だからこそ、慎重に増税するかを判断してほしいと僕は思います。一番身近だからこそ変化に追いつけなくなつていく人達が出てくると思えてくるのです。

僕は若い世代の負担が大きくなつてきている事、消費税の増税以外にも一つ一つ知った事があります。

それは「年金の不正受給」です。年金は働く事のできなくなった六十五歳以上の方のための税による援助です。そして、不正受給とは、受け取るはずの本人が亡くなつてしまつたりしているのを申告せずに、その家族が自分達のために使つてしまつ事です。

つまり、「不正受給」とは大きくなつてきてしまつている負担から逃れるために、本来は高齢者の方を支える側の人が行つてしまつているのです。このまま、何の対策もせず増税しても、そういう人達が増えていくだけに思えます。しかし、増税はするべきです。

僕は小さい頃、体が強くありませんでした。そのため病院には何度もお世話になつた事があります。そして、最近になつて病院にも税が使われているという事を知りました。それを知り、まず思つた事は税の必要性和税が無くなつたら生活はどうなつてしまふのかという事でした。

まず、税が無くなつてしまつたら、上下水の整備が出来なくなつ

てしまつたため、水道が使えなくなります。これだけでも、飲料水が無くなつたり、入浴できなくなつたりといった制限が出ます。次に、道路などの交通の整備が出来なくなつてしまつたため、事故などが多発してしまつと考えると警察も管理できなくなつてしまつので安全を確保する事すらできず、さらに病院などの医療関係も機能しないため、けがをしても治療もできません。他にも教育、公共施設の建設もできなくなります。

そつやつと具体的に考えていつたら、僕は税がどんなに重要、そして必要で、自分とどれ程密接に関わり合つていのかを改めて感じる事ができました。

税は確かに「負担」です。しかし、その「負担」によつて僕等国民の生活は支えられています。僕等たちの「生活」は税の活用、つまり「税活」が無ければ成り立たないのです。

税の負担を惜しまず行つ事が、国民の繋がりを作る第一歩ではないかと僕は思っています。

クール優秀作品発表！



女性部会長賞

聖ヨゼフ学園6年
鈴木 花歩 さん



青年部会長賞

戸手小学校6年
樋口 佳歩 さん

を募集したところ、今回も川崎区や幸区の小学生から多くの作品が寄せられ、応募の中から会長賞をはじめとする各賞が決定しました。

多数のご参加をいただき、ありがとうございました。